

人吉・球磨教頭会だより

人吉・球磨教頭会
会長 井口 秀明

1 はじめに

本会は、小学校27校、中学校12校の教頭39人で構成する組織である。

これまで、本会は「郡市の教育発展に寄与すること」「教頭相互の研修と親睦を図ること」を目的に研修の充実を図ってきた。

そのために、年間4回の研修会を行い、その中には郡市の主幹教諭も参加し、職種を超えて人材育成をはじめとした管理職としての資質・能力の向上を図るための研修に励んでいる。

2 組織

会長	井口 秀明	(大畑小)
副会長	堀井 淳二	(上小)
副会長	志牟田 靖	(人吉一中)
書記	中本 青志	(東間小)
書記	矢野 佳之	(人吉三中)
研究委員長	長谷 典昭	(相良北小)
副研究委員長	中島 公洋	(渡小)
会計	那須 治美	(一武小)
会計	小西 人美	(湯前中)
監事	米 育史	(黒肥地小)
監事	田山 一美	(久米小)
監事	岩坂 秀彦	(水上中)

3 事業報告

<第1回>令和4年4月26日(火)

- 研究推進の方向性についての確認
- 組織及び研究体制決定と確認
- 研修計画の立案及び情報交換
- ブロック別研修

<第2回>令和4年6月28日(火)

- 講話「学校組織マネジメント研修」
つくば中央研修センター研修復興
教頭会 会長 井口 秀明
- ブロック別研修
- 演習
「全国学力・学習状況調査の結果を受けて教頭としてどう取り組むか」

<第3回>令和4年11月15日(火)

- 講演
「コンサルティングの視点で見た学校及び土お式マネジメント」
講師 株式会社システムフォレスト
代表取締役 富山 孝治 様

- 人吉小学校部会提言内容発表及び協議

○ ブロック研修 各ブロックの研究
<第4回>令和5年1月26日(木)

- 講話「今、教頭としてどう動くか」
 - ・教頭として心がけておくこと
 - ・教頭として校長を補佐するとは
 - ・教頭としてやるべき職員の人材育成とは
 - ・教頭として大事な能力とは 等
- 講師：前年度校長 椎葉 勇二 氏
天羽 伸哉 氏
竹田 龍二 氏
川畑 雄二 氏

○ ブロック別研修
<その他役員会>

年間6回定例役員会実施(内2回は研究委員会との合同開催)

4 本年度の成果

- 本会では、熊本県教頭会研究テーマを踏まえ、研究を推進できた。
 - 人吉球磨教頭会の研究についてのキーワードを明確にしたことで研究に深まりが見られた。
 - ① 継続性のある研究
 - ② 成果の構築や課題の改善
 - ③ 会員相互で協働した学び
- 本年度は、全ての研修会を計画どおり実施できたので、ここ数年の中ではより充実した内容で研修ができた。
- 提言予定者の在籍するブロックだけでなく、それぞれのブロックごとに緩急テーマを設定したことで、それぞれの地区の実態の応じた研究が年間を通じて実施できた。横のつながりだけではなく、小中連携等の縦のつながりについても意見交換ができた。

5 今後の課題

若手の教頭が増えてきたため、研究の連続性を高めるとともに、横のつながりを更に深めていくことが必要である。

また、今日的課題に対する研究の必要性は勿論だが、各教頭の資質向上に資する研究についても取組の必要がある。

今後も、これらの課題については継続して取り組みながら、教頭としての資質向上を図る研修の企画・運営に努めていくとともに、教頭同士の連携を図り、教育上の課題に対する研究を進めていきたい。